

ダイワFEグローバル・バリュー(為替ヘッジあり／為替ヘッジなし) 設定後の運用状況について

2016年8月1日

平素は、「ダイワFEグローバル・バリュー(為替ヘッジあり／為替ヘッジなし)」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。
当ファンドの設定来の運用状況について、お知らせします。

【為替ヘッジあり】

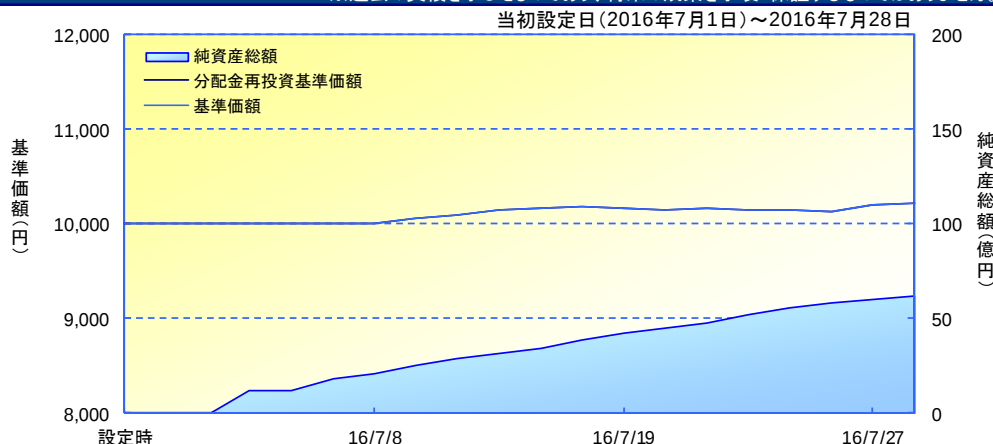
《基準価額・純資産の推移》

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

2016年7月28日現在

基準価額	10,220 円
純資産総額	62億円

期間別騰落率	
期間	ファンド
1カ月間	-----
3カ月間	-----
6カ月間	-----
1年間	-----
3年間	-----
5年間	-----
年初来	-----
設定来	+2.2 %



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。

※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応日までとし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。

※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

《主要な資産の状況》

※比率は、純資産総額に対するものです。

組入ファンド		合計93.9%
運用会社名	ファンド名	比率
ファースト・イーグル・インベストメント・マネージメント	ファースト・イーグル・グローバル・バリュー・マスター・ファンド	93.9%
大和証券投資信託委託	ダイワ・マネー・マザーファンド	0.0%

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

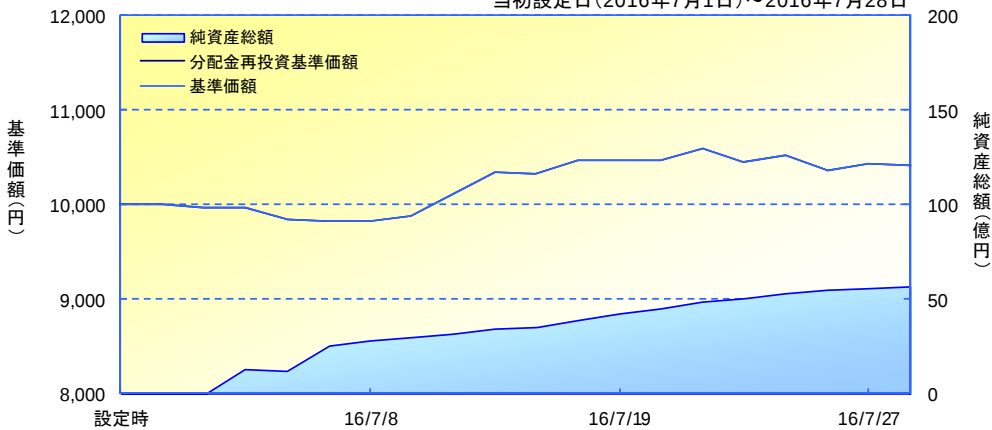
【為替ヘッジなし】

<< 基準価額・純資産の推移 >>
 ※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

2016年7月28日現在

基準価額	10,420 円
純資産総額	56億円

期間別騰落率	
期間	ファンド
1カ月間	-----
3カ月間	-----
6カ月間	-----
1年間	-----
3年間	-----
5年間	-----
年初来	-----
設定来	+4.2 %



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
 ※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。
 ※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応日までとし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。
 ※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

<< 主要な資産の状況 >>
 ※比率は、純資産総額に対するものです。

組入ファンド		合計95.4%
運用会社名	ファンド名	比率
ファースト・イーグル・インベストメント・マネージメント	ファースト・イーグル・グローバル・バリュー・マスター・ファンド	95.4%
大和証券投資信託委託	ダイワ・マネー・マザーファンド	0.0%

＜市場動向＞

世界の先進国株式市場は上昇

ファンド設定日(2016年7月1日)以降、世界の先進国株式市場は上昇しました(米ドルベース)。英国の不動産ファンドが解約受付を一時停止したとの報道が嫌気されたことや、イタリア銀行の資本力への懸念から、下落する場面はあったものの、米国の好調な経済指標や企業決算、英国の次期首相が決定し政治的不透明感が一部解消したこと、日本の経済対策への期待などから上昇しました。商品市場では原油価格は下落、金価格も下落しました。米国長期金利は金利上昇(価格は下落)しました。

為替相場は円安米ドル高

ファンド設定日以降、米ドル円相場は円安米ドル高となりました。月の月上旬は英国の不動産ファンドが解約受付を一時停止したとの報道や、イタリア銀行の資本力への懸念から、投資家のリスク回避姿勢が強まり円高となりました。月の中旬以降は参議院選挙の与党勝利を受け、安倍首相が追加の経済対策を示唆したことなどから投資家のリスク回避姿勢が後退し、円安米ドル高となりました。

＜運用状況＞

ファンド設定日以降、継続的に資金流入があったため、その都度ファースト・イーグル・グローバル・バリュー・マスター・ファンド(以下、マスターファンド)の買い付けを行いました。「為替ヘッジあり」についてはマスターファンドの買い付けに合わせて米ドル売り／円買いの為替ヘッジを行いました。

＜今後の運用方針＞

今後も資金流入に合わせてマスターファンドの買い付けを行います。「為替ヘッジあり」についてはマスターファンドの買い付けに合わせて米ドル売り／円買いの為替ヘッジを行います。なお、マスターファンドの運用方針は以下の通りです。

マクロ環境の変化に注意を払いつつも、予期せぬ事態が生じても、回復不可能な損失を回避できるよう、十分に割安な水準で投資を行うことを重視します。質の高い事業や希少な資産を有する企業に割安な水準で長期的に投資を行い、予期せぬ事態に備えるために、金関連資産を保有します。

世界の株式市場は高値のまま下がらない状態が続いており、十分に割安な銘柄を発掘する事は難しい状態です。今後、何らかの理由で世界の株式市場が下落し、優良な企業の株式に割安な水準で投資する機会が到来する際には、保有する現金を積極的に活用していく予定です。

以上

【ご参考】2016年6月29日時点のマスターファンドの資産状況

《ファースト・イーグル・グローバル・バリュー・マスター・ファンドの資産の状況》 ※比率は、マスターファンドの純資産総額に対するものです。
※下記データは、ファースト・イーグル・インベストメント・マネージメントの提供するデータを基に大和投資信託が作成したものです。

資産別構成		合計100.0%	通貨別構成		合計100.0%
資産		比率	通貨		比率
北米株式		41.3%	米ドル		68.0%
アメリカ		38.0%	日本円		11.1%
カナダ		2.0%	ユーロ		8.1%
メキシコ		1.3%	英ポンド		3.1%
欧州株式		14.2%	カナダ・ドル		2.0%
フランス		5.7%	韓国ウォン		1.6%
イギリス		3.0%	スイス・フラン		1.3%
ドイツ		1.5%	豪ドル		1.1%
その他		4.1%	香港ドル		0.8%
日本株式		13.1%	その他		2.8%
その他株式		4.1%			
アジア・パシフィック(除く日本)		3.8%			
中東アフリカ		0.1%			
ユーラシア		0.2%			
債券		1.1%			
国債		1.1%			
金関連		12.3%			
ETF関連		7.4%			
金関連株式		4.9%			
現金、その他		13.8%			

組入上位10銘柄			合計23.6%
銘柄名	業種名	比率	
SPDR GOLD SHARES	素材	7.4%	
ORACLE CORP	情報技術	2.4%	
COMCAST CORP-CLASS A	一般消費財・サービス	2.3%	
KDDI CORP	電気通信サービス	2.1%	
MICROSOFT CORP	情報技術	1.8%	
OMNICOM GROUP	一般消費財・サービス	1.6%	
FANUC CORP	資本財・サービス	1.5%	
WEYERHAEUSER CO	金融	1.5%	
SECOM CO LTD	資本財・サービス	1.5%	
AMERICAN EXPRESS CO	金融	1.4%	

※上記データは、四捨五入の関係で合計の数値と一致しない場合があります。
※業種名につきましては、ファースト・イーグル・インベストメント・マネージメントが決定しております。

ダイワFEグローバル・バリュー(為替ヘッジあり／為替ヘッジなし)

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

割安と判断される世界の株式等に投資し、信託財産の成長をめざします。

ファンドの特色

1. 割安と判断される世界の株式等に投資します。
※金 ETF、債券、転換社債など、株式以外の資産も投資対象とします。
2. 運用は、ファースト・イーグル・インベストメント・マネージメントが行ないます。
※投資対象ファンドであるマスターファンドにおいて、現地通貨売り／米ドル買いの為替取引を行なうことがあります。
3. 「為替ヘッジあり」と「為替ヘッジなし」の2つのファンドがあります。

為替ヘッジあり

- 米ドル建てのマスターファンドの組入額に対して、原則として米ドル売り／円買いの為替取引を行なうことにより、米ドルと円の為替変動リスクの低減を図ります。

※ただし、米ドルと円の為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。

※米ドル売り／円買いの為替ヘッジを行なう際、日本円の金利が米ドルの金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。

※米ドル建てのマスターファンドに米ドル建て以外の資産が含まれていることに起因するリスクがあります。くわしくは「投資リスク」をご参照下さい。

為替ヘッジなし

- 為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。

※基準価額は、為替変動の影響を直接受けます。

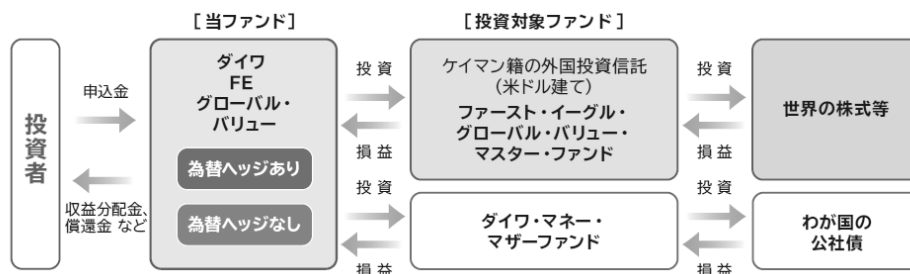
スイッチング(乗換え)について

◆「為替ヘッジあり」と「為替ヘッジなし」との間でスイッチング(乗換え)を行なうことができます。



販売会社によっては「為替ヘッジあり」または「為替ヘッジなし」のどちらか一方のみのお取扱いとなる場合があります。また、販売会社によっては、スイッチング(乗換え)のお取扱いがない場合があります。くわしくは販売会社にお問合わせ下さい。

4. 当ファンドは、以下の2本の投資信託証券に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」です。外国投資信託の受益証券を通じて、世界の株式等に投資します。



※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

ダイワFEグローバル・バリュー(為替ヘッジあり／為替ヘッジなし)

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

投資リスク

●当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「価格変動リスク、信用リスク（株価の変動・金価格の変動）」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

※マスターファンドは米ドルでの運用を基本としているため、「為替ヘッジあり」は、米ドル売り／円買いの為替取引によって為替変動リスクの低減をめざしますが、マスターファンドは運用者の判断によって米ドル以外の通貨（円を含みます）を組入れることもあります。このため、当該米ドル以外の通貨が米ドルに対して下落した場合、基準価額が下落する要因となります。なお、米ドル売り／円買いの為替ヘッジを行なう際、日本円の金利が米ドルの金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。

※「為替ヘッジなし」は、為替ヘッジを行なわないので、基準価額は、為替レートの変動の影響を直接受けけます。

※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 〈上限〉 3.24%(税抜3.0%) スイッチング(乗換え)による購入時の申込手数料については、販売会社にお問い合わせください。	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率 1.053% (税抜 0.975%)	運用管理費用の総額は、毎日、信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支弁します。
投資対象とする 投資信託証券	年率 0.94%	投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
実質的に負担する 運用管理費用	年率 1.993% (税込) 程度 ただし、投資対象ファンドの運用管理費用等に下限金額が設定されているため純資産総額によって、実質的な運用管理費用が年率 1.993% (税込) 程度を上回ることがあります。	
その他の費用・ 手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問い合わせください。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。

設定・運用：

大和投資信託

Daiwa Asset Management

商号等

大和証券投資信託委託株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号

加入協会 一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ダイワＦＥグローバル・バリュー（為替ヘッジあり/為替ヘッジなし） 取扱い販売会社

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第67号	○	○		
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○	○		○
大和証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第108号	○	○	○	○
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○			

上記の販売会社については今後変更となる場合があります。また、新規のご購入の取り扱いを行っていない場合がありますので、各販売会社にご確認ください。